

# 地域教育支援室とは？

地域の教育委員会や学校園等、教育機関との連携を深め、地域の中核的教員養成機能（ティーチーズ・センター）の充実と発展に寄与することを目的とした、教育学部附属共同施設です。

## ○大学と地域との連携事業・共同研究を進めています。

滋賀県教育委員会をはじめ、滋賀県総合教育センター、市町教育委員会、および学校園や各種団体・機関等の協力を得ながら、連携事業・共同研究を進め、地域の教育課題の解決と、その教育振興に努めています。

平成23年度には、44件の取り組みが展開されました。下記はその例です。



「地域の外国籍児童生徒に対する教育支援プロジェクト」

「重症心身障害者と介護者のための衣生活改善支援プロジェクト」

「家庭・地域・企業による学校応援団の構築と学校教育の充実」  
「滋賀次世代文化芸術センターにおける連携授業の教育効果  
とその意義について」



「かざぐるまパワーコンテストから探るエネルギー環境教育  
の可能性」



「学びや発見を日常の実践につなぐための授業分析会のあり  
方について」



取り組みの具体については、「地域教育連携年報」に掲載して  
あります。各市町教委、学校園に送付してありますのでご覧ください。

### ○大学教員の、出前講義や校内研究会への講師派遣を仲介します。

大学の教育資源をもって、大学の地域貢献、および知的情報発信をはか  
ることを目的に行っています。出前講義とは、大学教員がそれぞれの専門  
性を生かし、児童・生徒、教員、保護者および一般市民を対象に、地域で  
60～90分の講義を行うものです。題目や内容等の詳細や実施手順につ

いては、**地域教育支援室ホームページ**

(<http://support-sta.edu.shiga-u.ac.jp>) に掲載してあります。

校内研究会への講師派遣は、**学校園の校内研究会の活性化と教員の資質向上のため、大学教員を講師として派遣するものです。**講師依頼の手順についても、**出前講義同様、地域教育支援室ホームページをご覧ください。**



**○高校生を対象に、教職への関心を高めるための連携事業を行っています。**

教員についての職業観を高め、**確固とした教師像をもって、教師への道を進もうとする意識の高い高校生を育成するため、高校生が教職を探究するための講座やフォーラムを開催します。**

平成23年度は、**大学近隣の2校と連携し、長期休業中に集中講座を設けたところ、121名の高校生が参加しました。**



**○地域に学生ボランティアを派遣し、教育的実践力を育てる事業に取り組んでいます。**

学生にとって、教育現場で授業補助や個別の児童・生徒支援等に取り組むことは、教員への志望意欲を高めるとともに、子ども理解を深め、学校現場に即した教育実践を学ぶ機会となります。平成23年度は、保育園・幼稚園・小学校・中学校・養護学校に156名の学生を派遣しました。

石山プロジェクトについては、別紙をご覧ください。



**○地域連携に係わる広報活動を行っています。**

(1)年度始めに、下記のことを各市町教委、学校園へ送付していますので、ご利用ください。

- ・地域教育連携年報 : 共同研究・地域連携の成果をまとめた刊行物
- ・地域支援リーフレット : 学校教育や地域学習に対して行う支援について簡潔に紹介

**(2)地域教育支援室ホームページを公開しています。**

- ・ **設置の目的**                      ・ **地域教育の連携図**                      ・ **地域教育支援室沿革**
- ・ **出前講義・研究会への講師派遣手順**
- ・ **学校支援ボランティア派遣手順**
- ・ **各種申請書様式集**                      ・ **出前講義パンフレット**                      ・ **新着情報**

詳しくは、**地域教育支援室まで電話・ファックス・メールでお問い合わせください。**

## **地域教育支援室**

**TEL           :   077-537-7993    ・   077-537-7909**

**FAX           :   077-537-7909**

**E-mail       :   t-shien@edu.shiga-u.ac.jp**

**Home Page   :   <http://support-sta.edu.shiga-u.ac.jp>**

# 学生の皆さんへ

地域教育支援室では、次のような活動を通して、学生の皆さんを支援しています。

## ○スクール・サポーター先の斡旋をしています。

教育現場で子どもたちと接することにより、教育の魅力や大切さを実感することができます。

- 支援室では、
- ・ 幼、小、中、特支…**校種**は？
  - ・ 大学近隣、自宅近辺…**地域**は？
  - ・ 半年、数ヶ月、数週間…**期間**は？
- 等のニーズに応じて、サポーター先を紹介します。

地域の学校園等から寄せられた募集については、随時、学生支援センター前、もしくは支援室前に掲示しています。また、募集掲示にはなくても、希望する学校園等があれば、先方に連絡し、受け入れの可否について問い合わせることもしています。

大学の講義がない時間帯を利用し、スクサポに取り組みましょう。

**学校支援ボランティア募集**

**大津市立南郷小学校**  
学校支援ボランティア

学 校 園: 大津市立南郷小学校(南郷一丁目下車 徒歩すぐ)  
内 容: 授業の補助 休み時間の遊び参加等  
期 間: 平成24年4月23日(月)以降随時  
時 間: 8時45分～15時25分の間で、3～6時間  
曜日を決めて、毎週1～2回。のべ30時間以上  
服 装 等: 活動しやすい服装、上靴、体操服、  
体育館シューズ  
募 集 人 数: 20人まで可  
謝 金・交 通 費: なし

大学から近い、地域の小学校です。ボランティアが可能になった時点で応募を提出してください。  
地域教育支援室 青谷  
aotani@edu.shiga-u.ac.jp

**ふるさと体験学習サポーター**

学 校 園: 大津市立石山中学校  
<ふるさと体験学習は、葛川少年自然の室で実施>

内 容: 1年生ふるさと体験学習の各活動の指導補助  
アマゴつかみ、野外炊飯、焼きお餅付け、など  
期 間: 平成24年 4月13日(金)  
9:00 ~ 16:00  
募 集 人 数: 特になし  
日 程: 9:00 滋賀大発  
(石山中教職員の自家用車で同乗)  
→10:00 自然の家着・活動開始  
(昼食は、生徒と野外炊飯で作ったものを食べる。)  
→15:00 終了  
(石山中教職員の自家用車で滋賀大へ)  
→16:00 滋賀大着・解散  
備 考: 謝金はありません。  
応 募 期 限: 平成24年4月12日まで

詳しい内容が知りたい方は、地域教育支援室 青谷まで問い合わせ下さい。  
aotani@edu.shiga-u.ac.jp

## ○教員採用試験に向けてのアドバイスをします。

教員採用試験での試験課題になることが多い、論作文・面接・模擬授業等に関するアドバイスをしています。滋賀県の試験では、集団討論も実施されるので、7～8名で来室し、「模擬集団討論」を行う学生も多いです。

平成23年6～8月に、教員採用試験対策のため、来室した学生の数は、のべ300名でした。



## ○教材研究や学習指導案作成のお手伝いをします。

教育実習等で、教材研究や指導案作成がはかどらず、困っている人はいませんか？

現在の支援室長には、中学校での現場経験が、室員には、小学校教諭としての現場経験があります。教材研究の方法、指導案の書き方等、基本的な内容から、本時の細案や、ちょっとした授業技術に至るまで指導します。

子どもたちの目が輝き、確かな学びがある、授業実現のためのお手伝いができれば幸いです。



## ○石山プロジェクトを運営しています。

近隣の石山幼稚園、石山小学校で、半年間継続的にスクール・サポーターを行うことで、教職に対する、より深く広い学びを実現するプロジェクトです。

他のスクサポとの大きな違いは、下記の通りです。



◆月に1度省察会を開き、スクサポの成果や課題を交流したり、疑問や悩みに対してアドバイスを受けたりしながら、学びを深める。



◆学期末に報告会を開き、各自の学びを発表する。

◆学期末にA4一枚程度の報告書を作成し提出する。  
(※これは、冊子にまとめられ、後日配付されます。)



募集時期は、10月と3月の年二回。学生支援センター前に募集掲示がはりだされたら、申し込んでください。